

令和 5 年 6 月 12 日現在

機関番号：32693

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2017～2022

課題番号：17K12608

研究課題名（和文）地域医療システム構築を推進する保健所保健師のコア評価指標の開発および実証研究

研究課題名（英文）Development and Empirical Study of Core Evaluation Indicators for Public Health Nurses to Promote the Construction of a Community Health Care System

研究代表者

成木 弘子（Naruki, Hiroko）

日本赤十字看護大学・さいたま看護学部・教授

研究者番号：30237622

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,500,000円

研究成果の概要（和文）：地域医療システム構築評価の中核となる指標を開発する為に文献検討、保健師へのインタビューを通して21項目から構成される評価指標を開発した。その指標を用いて全国の都道府県型保健所の統括的立場にある保健師に郵送調査（発送350通、返送159通：回収率45.4%）を実施した。システム構築のある104所を分析した。その結果、このシステムの「構築期」「維持期」「発展期」と発展するにつれ、各移行段階で有意差がみられたのは「当初の体制構築の目標を達成し次の目標設定に取り組んでいる」の1項目のみであった。「構築期」から「維持期」への変化は2項目、「維持期」から「発展期」への変化は1項目が優位に認められた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

これまでに開発された指標は、信頼性や妥当性を検証した指標は明らかにされていないが、本研究ではこれらを担保した科学的な指標の開発が可能である。また、これまで開発された指標は大変細かくて実践での活用が困難であるが、本研究において「コア評価指標」を示すことで、実践の場の負担を軽減し活動への評価指標を取り入れることを促すことができ、システム構築を推進する一助となる。

研究成果の概要（英文）：The purpose of this study is to develop core indicators for evaluating the establishment of a community medical health care system involving public health nurses. For this purpose, a literature review and interviews with public health nurses were conducted, and a 21-item evaluation index was developed. Using this evaluation index, we conducted a mailed questionnaire survey of 350 public health centers established in prefectures in Japan. As a result, only one core indicator was identified: "The initial goal of establishing a system has been achieved, and efforts are being made to set the next goal. Since the survey was conducted during the period of Covid-19 infection spread, it was difficult to ascertain the normal state of cooperation, and we believe it will be necessary to ascertain the actual situation during normal times."

研究分野：公衆衛生看護

キーワード：保健所保健師 地域医療システム 構築段階 評価指標

様式 C-19、F-19-1、Z-19（共通）

## 1. 研究開始当初の背景

2025年には医療などが必要な後期高齢者数の増加と社会資源不足という問題へ対応する為に、地域医療構想や地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいる。保健所保健師は、地域医療システム構築の推進役としても期待されているが、この活動に関する保健所保健師の科学的な評価指標、特にコア指標は充分には開発されておらず、取り組みを躊躇させる要因ともなっている。このシステム構築を評価する中心となる指標を開発することが求められている。

## 2. 研究の目的

本研究は「地域医療システム構築を推進する保健師の評価指標」を科学的に開発し実践に役立つ“コア”評価を含めた評価指標として確立することを目的とする。

## 3. 研究の方法

- (1) 文献検討、自身の先行研究の再検討、保健所保健師へのインタビューを踏まえてシステムの評価指標案の作成に取り組む。
- (2) 上記で開発したシステムの評価指標を用いて都道府県保健所保健師へシステムの評価のため調査を実施し、その結果をシステムの構築段階を反映する評価指標を検討する。
- (3) 実証（実践の場での実際活用した上での評価指標を確定）を行う。

## 4. 研究成果

- (1) 文献検討および5名の保健所保健師に対して地域医療ケアに関するシステム構築についてインタビューを実施した。コア指標と推測される事柄として新たに「関係者間で目標やビジョンの共有がなされている」「定期的に意見や情報を交換する場を設定している」「組織の代表者があつまる大きな会議から現場のスタッフが意見交換するワーキンググループまで組織が構造的に設定されている」などを抽出した。結果を踏まえて評価票を作成し15名の保健所保健師に対してプレテストを実施したそれらの結果から21項目の評価指標を開発した。項目は表1の1)~21)として示す。
- (2) 全国の都道府県型保健所350カ所に無記名郵送調査を2022年12月30日から2023年2月27日まで実施した。アンケートは管内市町村数、二次医療圏との一致状況など基礎的な情報および地域保健医療関係のシステム構築の有無、段階、および状況などである。システムの段階は、創設期（現状を把握している段階）、構築期（連携体制の構築段階）、維持期（連携体制の運用段階）、発展期（連携体制の評価・改善段階）の4段階とした。また、システムの状態は表1の1)~21)の21項目、各項目を「1点：まったくあてはまらない」から「4点：とても当てはまる」合計84点とした。その結果、返送159通（回収率45.4%）、システム構築の取り組みがある保健所106カ所（有効回答率30.3%）に分析を行った。中核となる指標として確認できたのは「3)当初の体制構築の目標を達成し、次の目標設定に取り組んでいる」の1項目のみであった（ $p<0.05$ ）。「構築期」「維持期」「発展期」と優位に連携が強まっていく状況が確認できた。「構築期」と「維持期」あるいは「維持期」「発展期」に有意差があった項目は3つであった（ $p<0.05$ ）。詳細は表1として示した。この結果は、covid-19感染状況下という特殊な状況下であったために平時に再度検討する必要があると考える。
- (3) システムの評価のための中核となる指標を開発したが、covid-19感染状況下という特殊な状況下であったために実証研究を実施することが困難であった。

表1 システム構築段階と連携状況の関連				n=104	
	構築期	維持期	発展期	H値	p値
	平均順位	平均順位	平均順位		
1) 関係者・関係機関で共有する為の体制構築の目標を設定している	23.23	29.38	38.95	10.76	0.004
		**			**
2) 関係者・関係機関が体制構築の目標を共有している	21.33	29.95	40.23	14.69	0.001
		**			**
3) 当初の体制構築の目標を達成し、次の目標設定に取り組んでいる	18.88	30.8	41.83	21.01	0.001
		*	*		**
		**			
4) 関係機関の連携のありたい姿（関係図）を描いている	23.70	28.43	39.38	10.24	0.006
		**			**
5) 関係機関の連携のありたい姿（関係図）を関係者間で共有している	20.98	35.90	34.63	12.56	0.001
		**			**
		*			
6) 関係機関の連携のありたい姿（関係図）に基づいて関係者が行動している	20.13	30.45	40.93	17.60	0.001
		**			**
7) 体制づくりに必要だと当初想定している関係者・関係機関が、定期的に参加できる話し合いの場が設定されている	23.14	30.95	41.90	13.20	0.001
		**			**
8) 体制づくりのメンバーとして必要だと当初想定していた関係者・関係機関が、連携会議等の話し合いの場に参加	23.29	32.64	40.07	11.47	0.003
		**			**
9) 体制づくりに必要だと当初想定していた関係者・関係機関の枠を超えて連携会議等の話し合いの場への参加が見られる	22.69	31.76	41.55	12.70	0.001
		**			**
10) 関係者・関係機関は、共通する要支援者について他機関や他職種に[連絡]（報告）できる	25.21	34.62	36.17	8.35	0.015
		**			*
11) 関係者・関係機関は、共通する要支援者について他の機関や他の職種に「気軽に相談」できる	26.00	32.60	37.40	5.90	0.052
12) 関係者・関係機関は、「共通する要支援者以外のケースや課題」について、他の機関や職種に気軽に相談できる	25.40	32.03	34.08	3.67	0.159
13) 関係機関の代表者が参加する連携会議等が定期的開催されている	18.24	36.64	41.12	22.06	0.001
		**			**
		**			
14) 上記の会議では参加者が立場を超えて自由に発言している	22.02	33.86	40.12	12.54	0.001
		**			**
15) 上記の会議の下部組織として「作業部会」が定期的開催されている	22.75	28.05	40.70	12.23	0.002
		**			**
16) 上記の部会の下部組織として「ワーキンググループ」が設置されている	24.15	24.63	42.73	16.06	0.001
		*	**		**
		**			
17) 「専門職」の為の研修が設定されている	28.02	36.98	31.00	3.18	0.203
18) 「住民」の為の研修が設定されている	26.12	35.29	34.60	3.62	0.163
19) 「様々な職種や住民」が一緒に受ける研修が設定されている	27.26	33.67	35.07	2.40	0.300
20) 保健所内の各部署を横断的に調整し協力できる体制を作っている	24.10	32.10	39.81	9.48	0.008
		**			**
21) 管内市町村と協議の場を設定している	26.19	36.10	33.71	4.31	0.115
	Steel-Dwass検定		H検定：Kruskal-Wallis検定		
			* p<0.05 ** p<0.01		

以上

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計0件

〔学会発表〕 計1件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名 成木弘子, 藤井仁
2. 発表標題 都道府県保健所保健師がかかわる地域保健医療関係のケアシステム構築状況
3. 学会等名 日本公衆衛生学会
4. 発表年 2023年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	藤井 仁  (Fujii Hitoshi)  (10512361)	目白大学・看護学部・准教授   (32414)	
研究分担者	堀井 聡子  (Horii Satoko)  (70617422)	富山県立大学・その他部局等・研究員   (23201)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------